

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

宮崎県内企業景況調査報告書

2023年10月～12月期

第111回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事: 宮崎商工会議所)

目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
 - (1)前期比 令和5年7月～9月比
 - (2)前年同期比 令和4年10月～12月比
 - (3)来期見通し 令和6年1月～3月見通し
5. 業種別の景気動向
 - (1)製造業
 - (2)建設業
 - (3)卸売業
 - (4)小売業
 - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

1. 実施概要

(1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	135社
回答率	27.0%

(業種別)

製造業	38社
建設業	37社
卸売業	9社
小売業	23社
サービス業	28社
合計	135社

(2) 調査対象月

2023年10月～12月期

(3) 調査依頼期間

2023年12月20日(水) ～ 2024年1月12日(金)

(4) 調査内容

調査対象の第1四半期について、前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

(5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

(6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

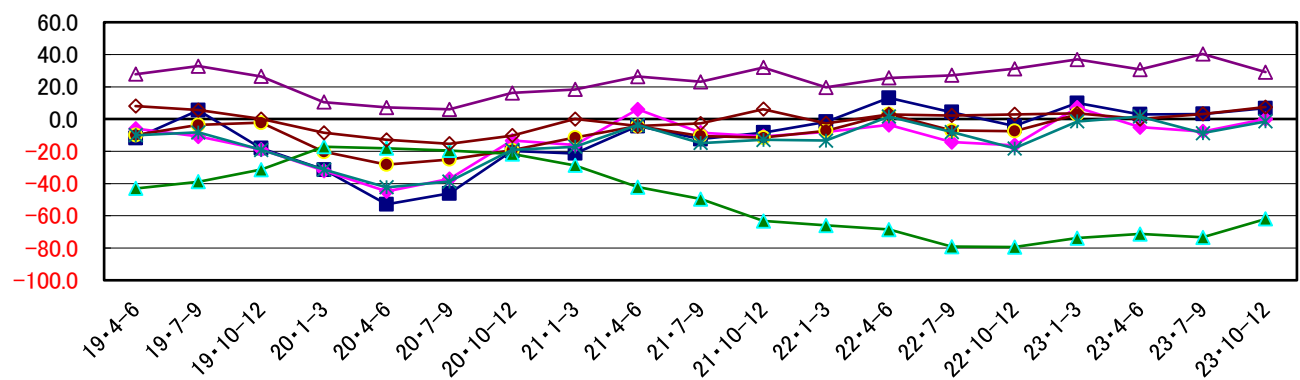
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
資金繰りDI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")
仕入価格DI	=	(下落 ")	—	(上昇 ")
雇用状況DI	=	(不足 ")	—	(過剰 ")
設備投資DI	=	(拡大 ")	—	(減少 ")
業況DI	=	(好転 ")	—	(悪化 ")

2. 調査結果(DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



	19-4-6	19-7-9	19-10-12	20-1-3	20-4-6	20-7-9	20-10-12	21-1-3	21-4-6	21-7-9	21-10-12	22-1-3	22-4-6	22-7-9	22-10-12	23-1-3	23-4-6	23-7-9	23-10-12
■ 売上	-11.9	5.5	-18.1	-31.4	-52.9	-46.2	-19.9	-21.4	-4.4	-12.4	-8.4	-1.8	13.1	4.3	-4.4	9.9	2.9	3.1	6.7
◆ 採算	-6.0	-10.9	-18.9	-32.0	-44.9	-37.1	-13.3	-16.0	5.9	-8.4	-10.7	-8.1	-3.7	-14.3	-16.3	7.1	-5.1	-7.8	0.0
● 資金繰り	-9.9	-3.7	-2.4	-20.3	-28.3	-25.0	-19.4	-11.5	-4.4	-10.5	-11.5	-7.3	3.0	-7.2	-7.5	2.9	0.7	-6.2	3.0
▲ 仕入価格	-43.0	-38.9	-31.5	-17.2	-18.1	-19.5	-21.6	-28.7	-42.2	-49.6	-63.3	-66.1	-68.6	-79.1	-79.4	-73.8	-71.3	-73.4	-61.9
△ 雇用状況	27.8	32.7	26.4	10.5	7.2	6.0	16.2	18.3	26.3	23.1	32.0	19.6	25.5	27.1	31.1	36.9	30.7	40.3	29.1
◇ 設備投資	8.0	5.5	0.0	-8.6	-12.9	-15.4	-10.3	0.0	-4.4	-2.8	6.2	-2.7	2.9	2.2	2.9	3.5	0	3.1	7.4
* 集況	-10.0	-8.3	-19.2	-31.4	-42.4	-38.8	-19.1	-17.2	-3.7	-14.9	-12.9	-13.4	1.5	-8.1	-18.2	-1.5	1.5	-8.7	-1.5

3. 概況

(1) 今期の特徴

今期の特徴としては、前年同期と比較すると全体的にDI値は上昇したことが分かる。コロナからの回復で観光客も増え、サービス業の業況が改善した。また、忘年会シーズンにより、卸売業、小売業の需要も高まり、売上が伸びた事業所が多くみられた。

(2) 来期の見通し

来期はキャンプシーズンにより、継続して観光客は見込める模様。一方で、人材不足による機会損失を心配する声もみられた。原材料(仕入)価格の高騰や、人材確保に向けての賃金の上昇により資金繰りに苦慮する事業所も多くあった。

(3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「従業員の不足」、3位「需要の停滞」、4位「人件費の増加」、5位「原材料・人件費以外の経費の増加」という結果になった。

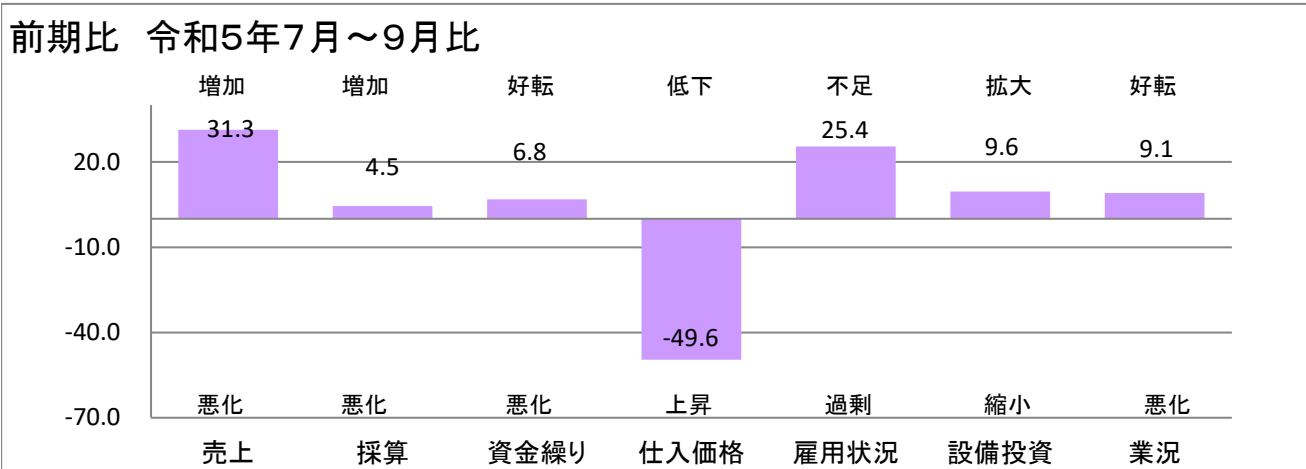
(4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理化を実施したい」、5位「経営の多角化を行いたい」という結果になった。

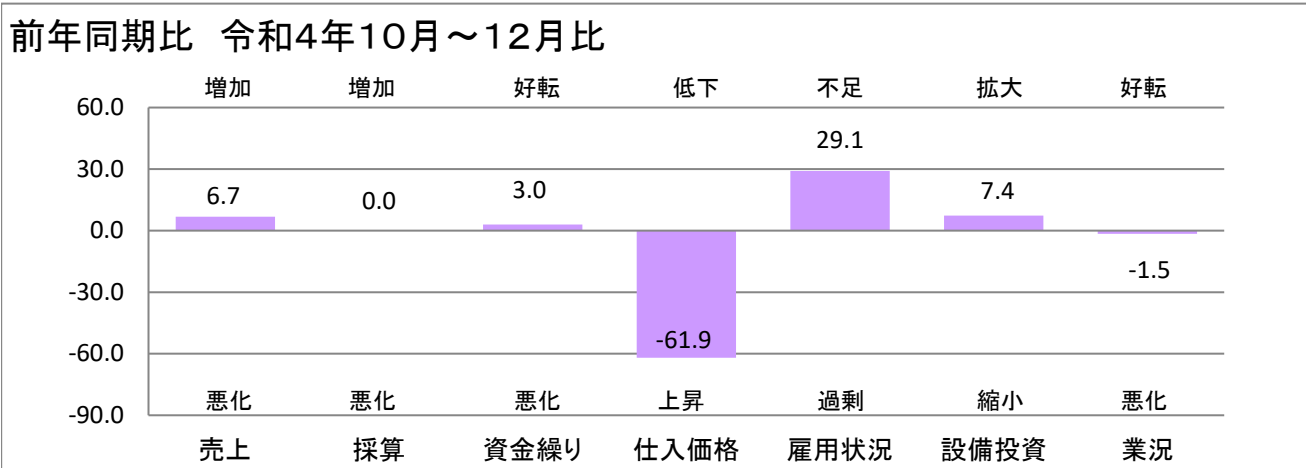
(5) 総括・分析

今期は、どの業種も売上が上昇している事業所が多く、各市町村が行っているコロナや物価高対策の商品券の効果も影響したと考えられる。しかし、その反動で来期の売上を心配する事業所もあった。また、インボイス制度の開始や電子帳簿保存法により、事務の煩雑さに苦悩する中小企業が多く、国に対して制度の簡略化や原材料や燃料費の価格高騰に対する支援を求める声が多くみられた。

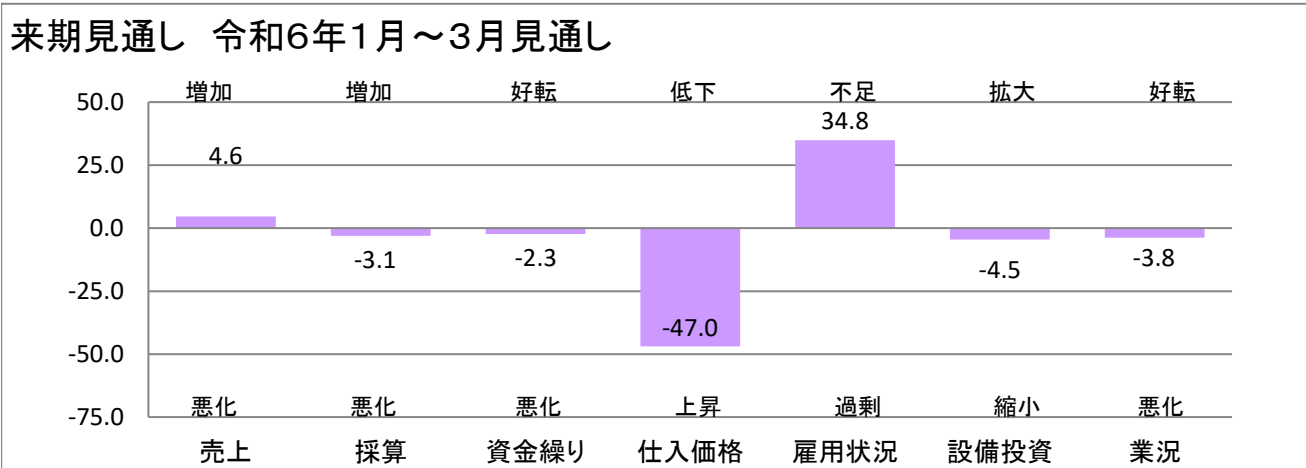
4. 県内の景気動向(全業種)



前期と比較すると仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。特に、売上DIは前期と比較すると20ポイント増加するという結果となり、コロナの規制緩和による外食や人の往来の影響が顕著に数値に現れた。一方で、仕入価格の高騰は高止まり傾向にあることが分かった。



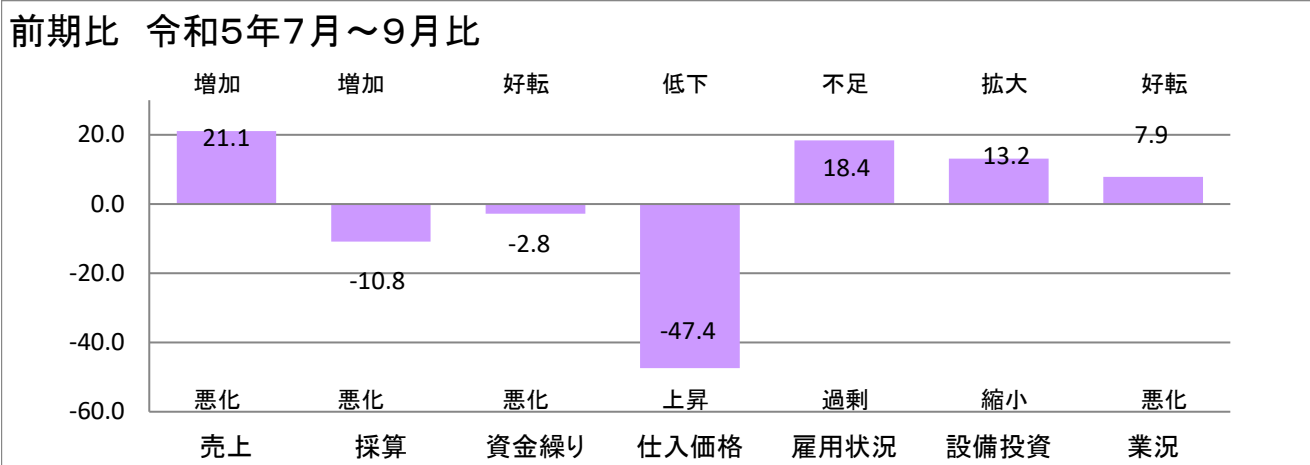
前年同期と比較すると、仕入価格DIは上昇、業況DIは悪化、採算DIは0、その他の項目ではプラスの値を示す結果となった。業況DIが悪化している原因としては、原材料(仕入)価格の高騰が大きく影響していると考えられる。また、賃上げによる人件費の上昇も要因の一つとして挙げられる。



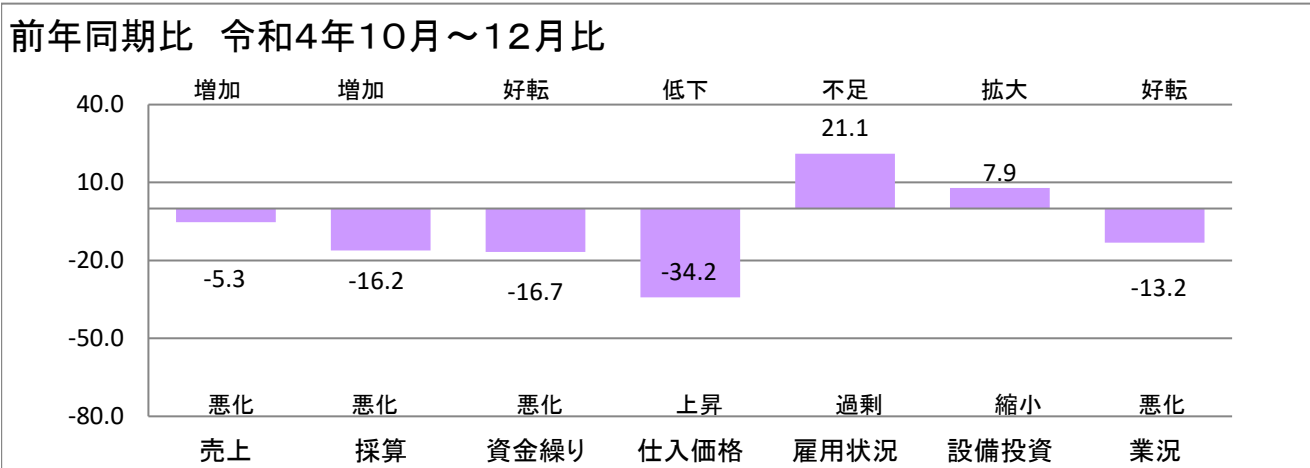
来期の見通しとしては、売上DIは上昇、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。売上に関しては、今期と同じ程度で推移すると回答する事業所が多かった。しかしながら、人材不足やによる機会損失、仕入価格の高騰による資金繰りの悪化を心配するコメントが多くみられた。

5. 業種別の景気動向

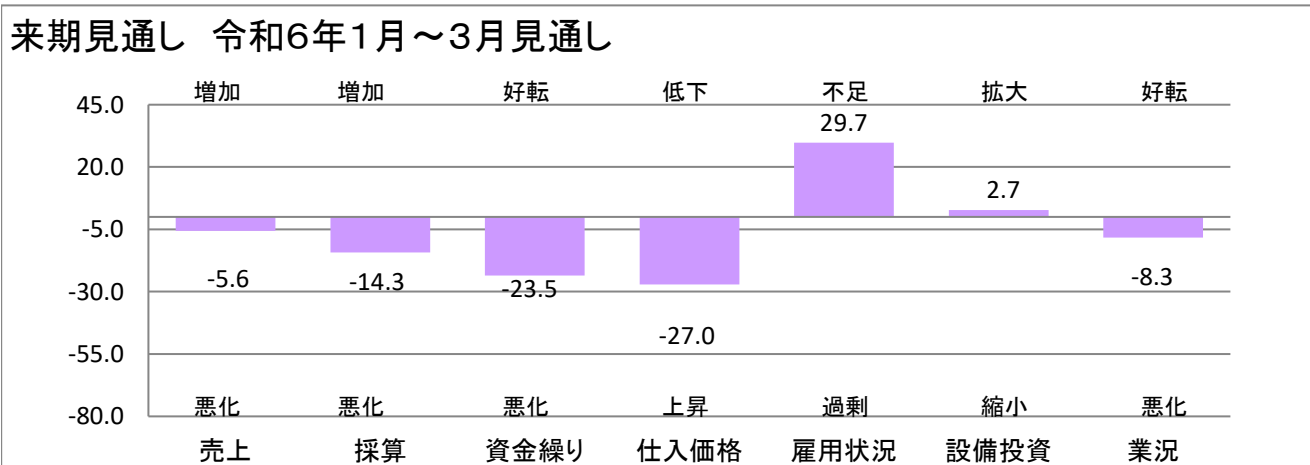
(1) 製造業



前期と比較すると、売上DIは増加、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。売上DIは増加したものの、仕入価格の高騰により、資金繰りが悪化した事業所が多くみられた。また、製材業は、気象や自然災害等の影響を受ける事業所もあった。

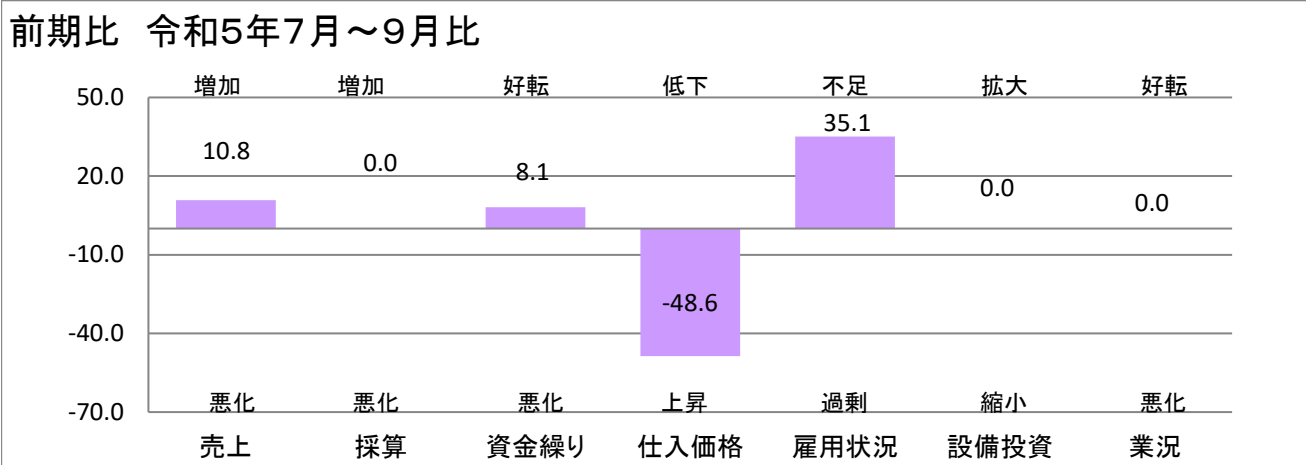


前年同期と比較すると、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。製造業においては、コロナ終息後に売上が回復する見通しであったが、思うように伸びず、コロナ特需が無くなったのみで業況が悪化したという事業所が多かった。

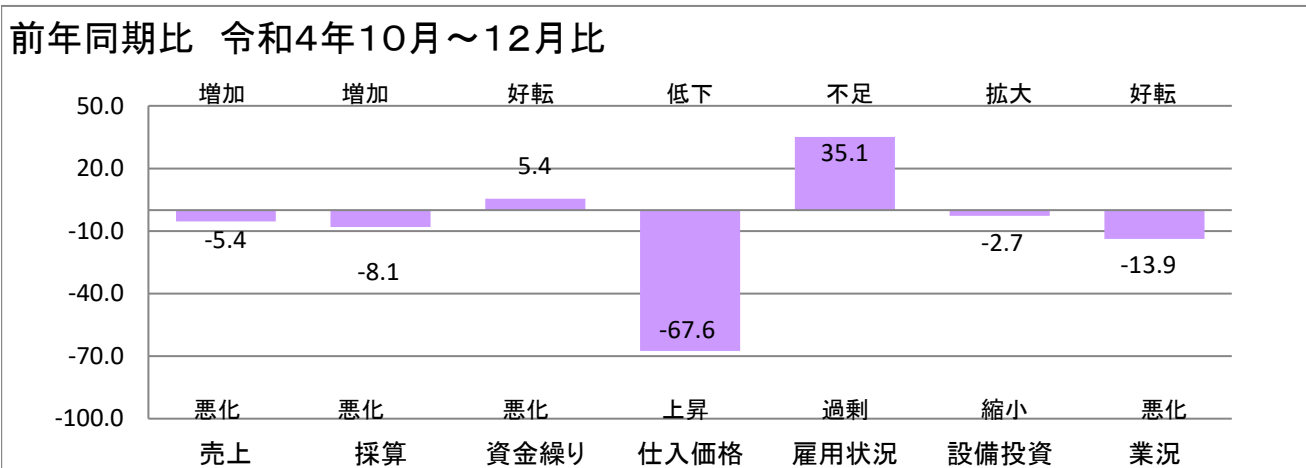


来期の見通しは、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。人員不足により生産が追い付かず、当面厳しい状況が続くというコメントが多くみられた。一方で、来年のクルーズ船の就航による経済効果を期待するコメントも見られた。

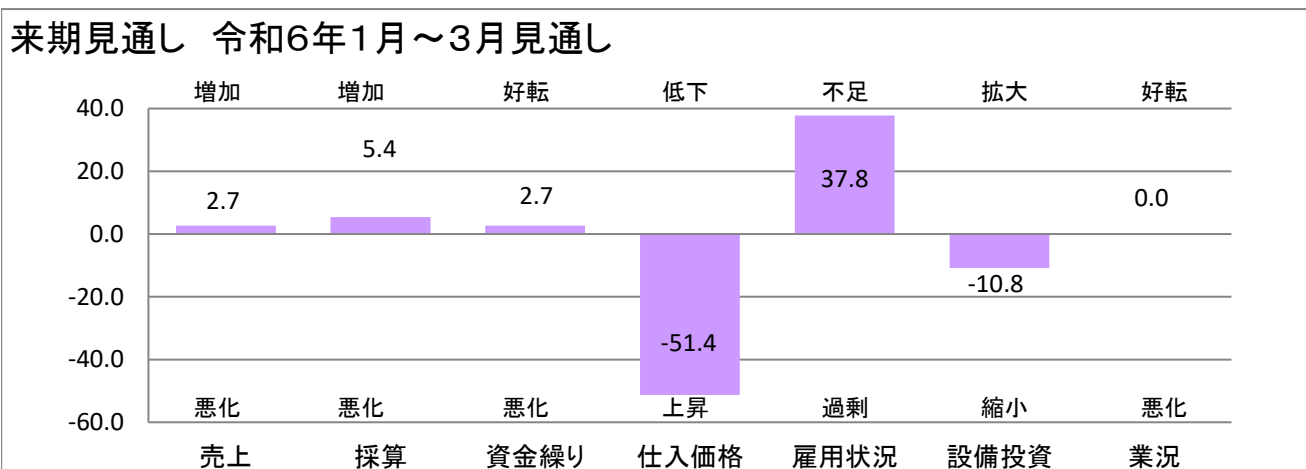
5. 業種別の景気動向 (2)建設業



前期と比較すると、採算DIや設備投資DI、業況DIはいずれも0、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。公共工事を受注している事業所に関しては、業況は好転しているという回答であったが、一時的なもののため、公共工事の工事件数の少なさに対して、予算額の増額を希望するコメントも見られた。



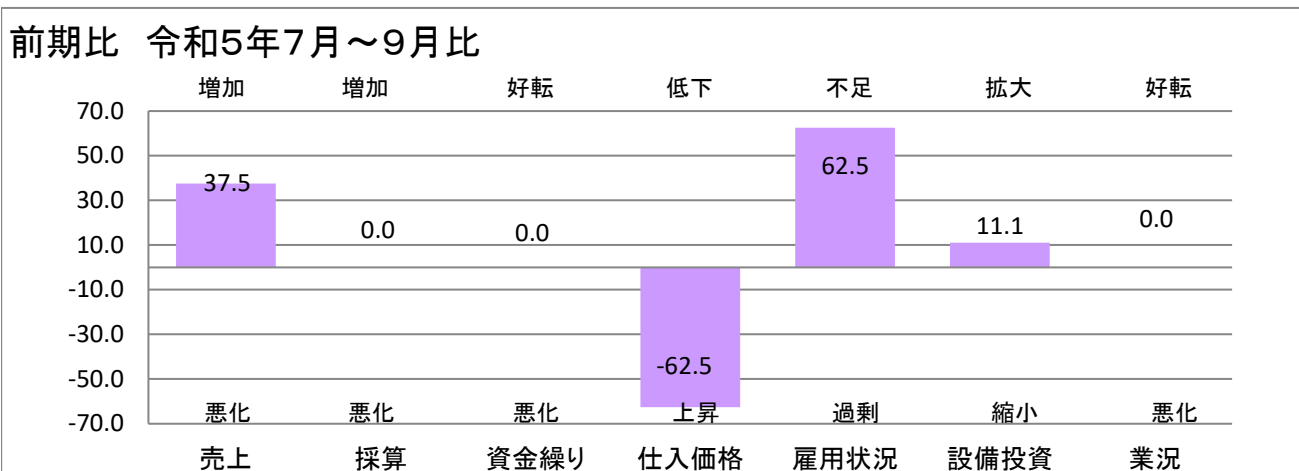
前年同期と比較すると、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。昨年と比較すると原材料が30%程度上昇しており、価格転嫁が間に合っておらず採算が悪化している事業所が多くあった。また、材料の供給不足による受注工事の延期や、受注の取りやめも発生しており、建設業全体が厳しい現状にあると考えられる。



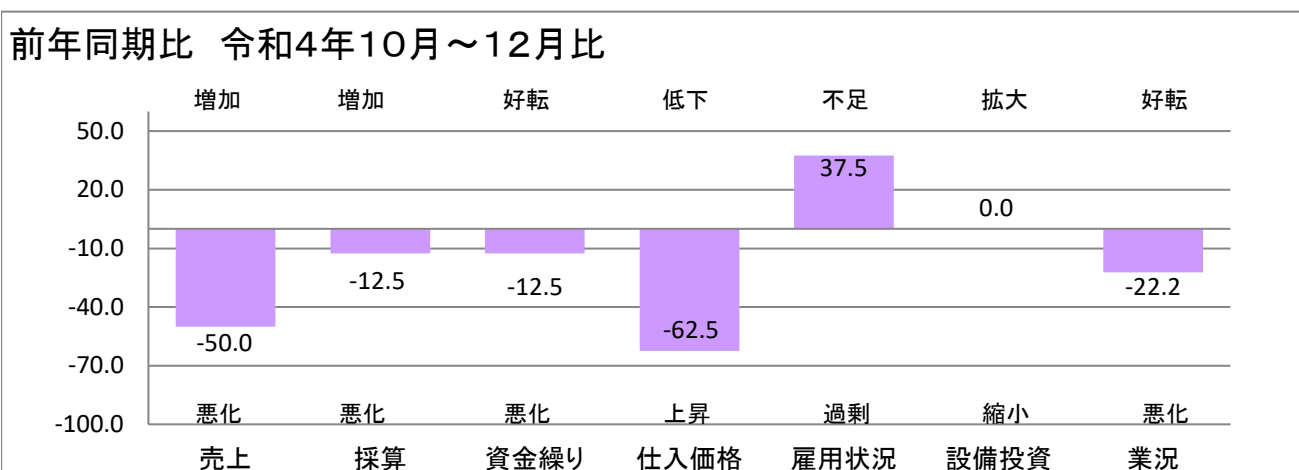
来期の見通しは、業況DIは0、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは縮小、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。来期は、補正予算等により、発注増を期待する事業所が多くみられた。また、人員不足や熟練工の減少により、機会損失を心配するコメントもみられた。

5. 業種別の景気動向

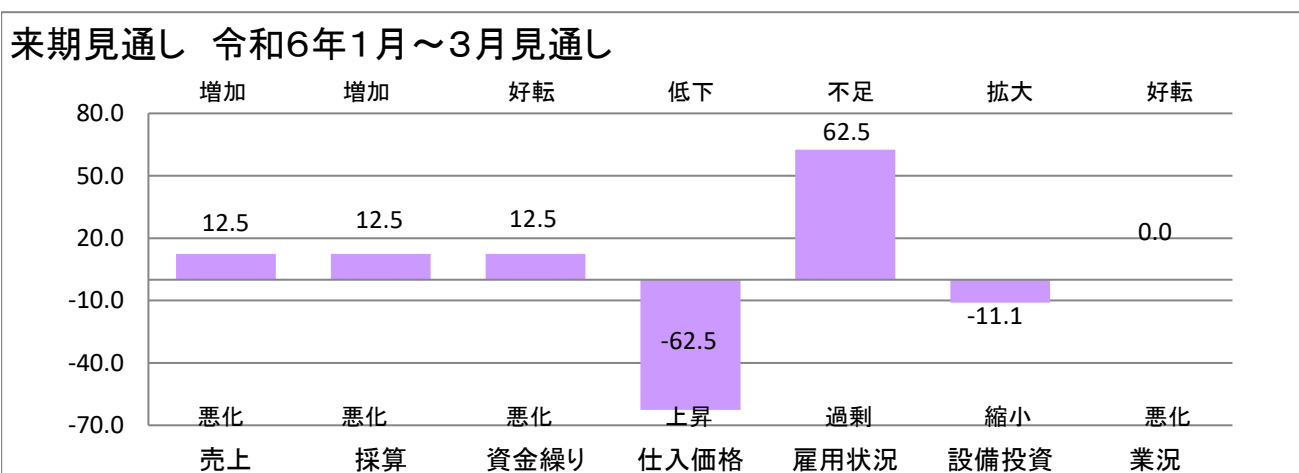
(3) 卸売業



前期と比較すると採算DIと資金繰りDI、業況DIはいずれも0、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。コロナが明けて、人の往来による消費需要が高まる一方で、家庭内消費は低下しているため、全体的に業況は横ばいであった。



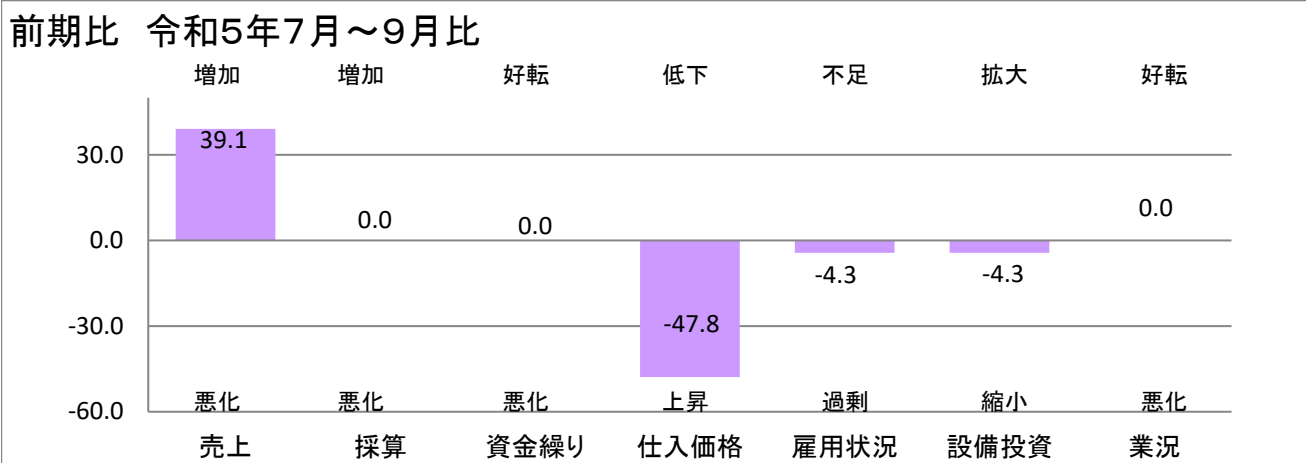
前年同期と比較すると、設備投資DIは0、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。卸売業のみ昨年同期よりも売上が▲50ポイントと大幅な下落となった。多くの事業所が仕入価格の高騰に対しての価格転嫁に苦慮している様子であった。



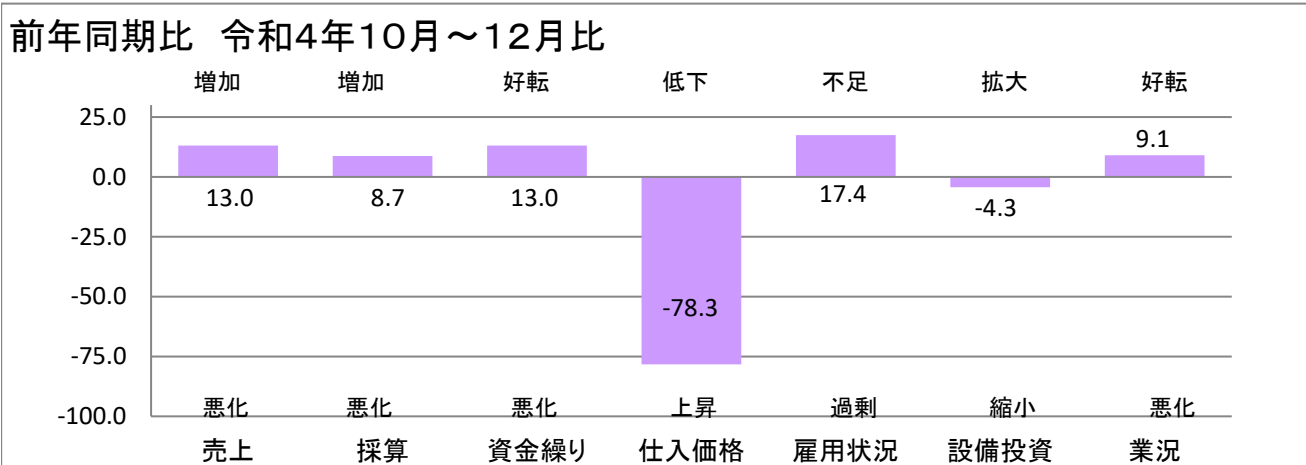
来期の見通しは、業況DIは0、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは縮小、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。来期には配送料の値上げにより商品を値上げした影響が出始めるため、売上が増加する見込みであるというコメントがみられた。一方で、業界として人員不足が深刻化している傾向にあると考えられる。

5. 業種別の景気動向

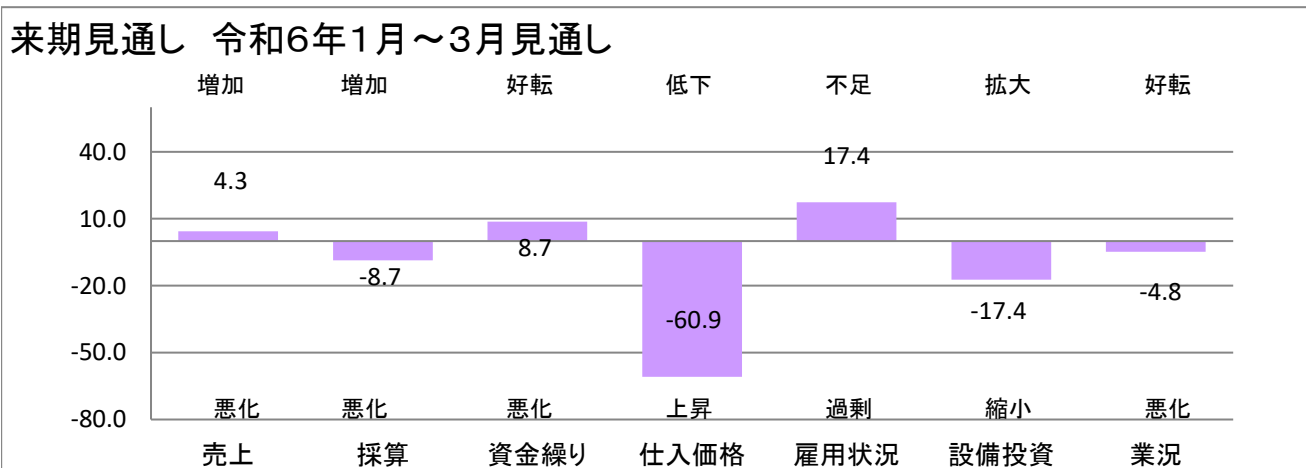
(4)小売業



前期と比較すると、採算DIと資金繰りDI、業況DIは0、売上DIは上昇、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。コロナの5類移行により、イベント等が開催されるようになり観光客も増えた結果、売上が増加した事業所が多くみられた。また、プレミアム付き商品券の発行によって購買意欲の高まりが感じられたとのコメントもあった。



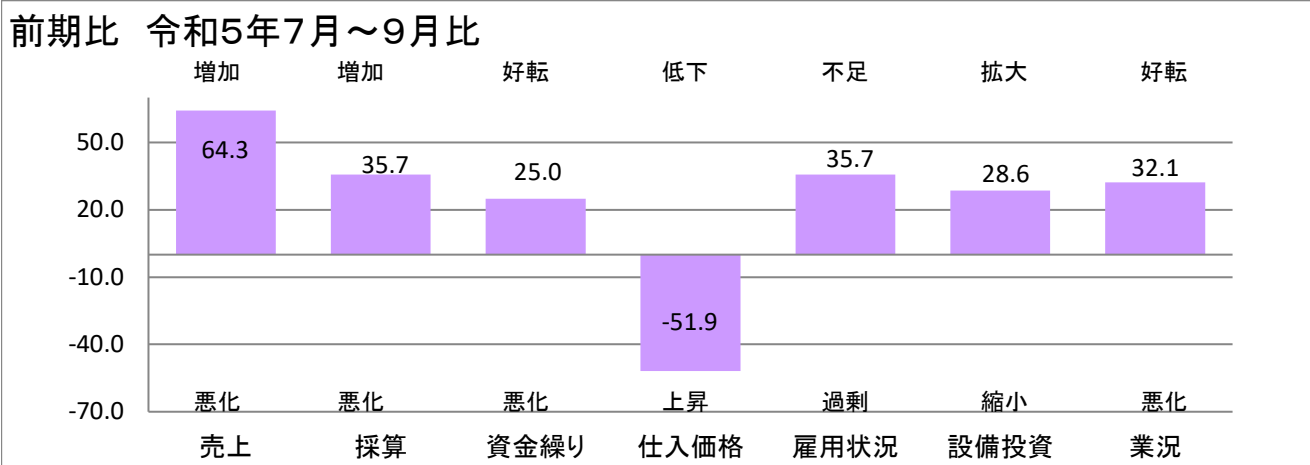
前年同期と比較すると、仕入価格DIは上昇、設備投資DIは縮小、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。商品の値上げによる消費低迷が心配される中、家庭内消費をターゲットにした商品陳列やキャッシュレス決済の導入など、売上増加に向けて工夫している事業所が多くみられた。



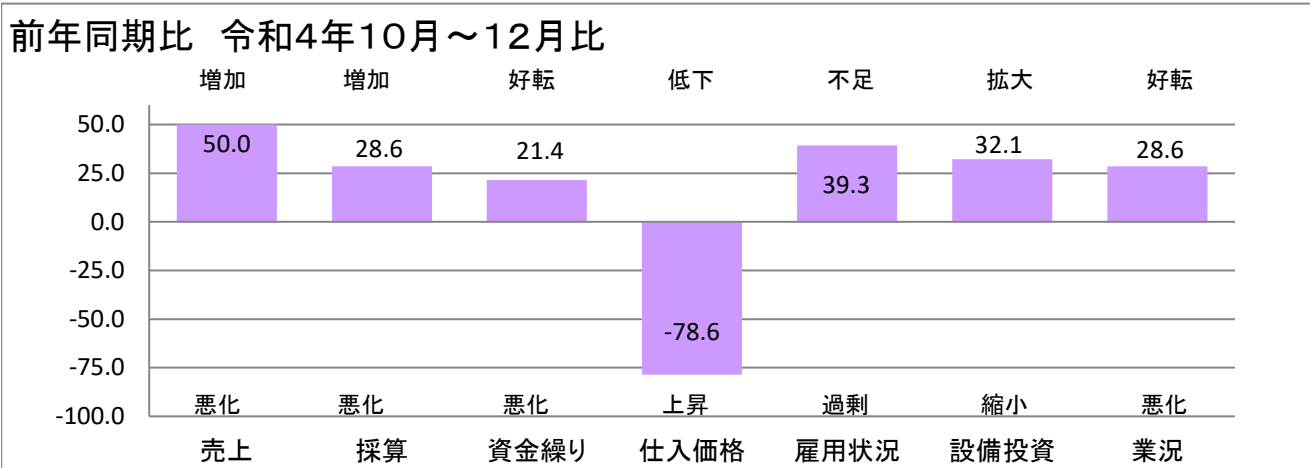
来期の見通しは、売上DIは増加、資金繰りDIは好転、雇用状況DIは不足、その他の項目はマイナスの値を示す結果となった。仕入価格の高騰や人件費の上昇により採算は悪化すると見込む事業所が多かった。インボイス制度の開始により大企業と中小企業の格差が広がるのを心配するコメントが見られた。また、年度末の従業員の退職による人員不足に対する対応策に追われる事業所も存在した。

5. 業種別の景気動向

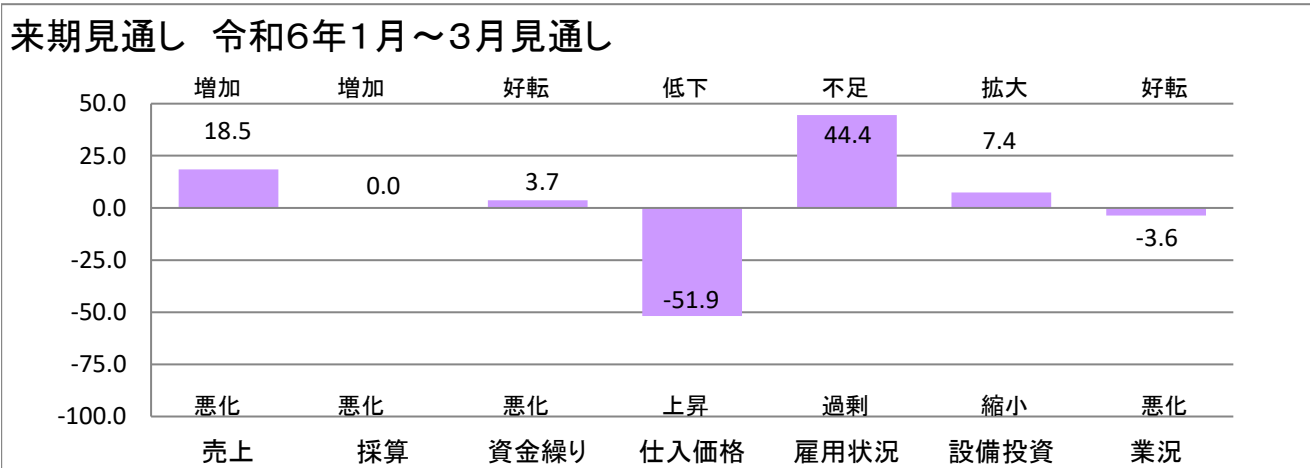
(5) サービス業



前期と比較すると、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。コロナ5類移行に伴い、業況が改善した事業所が多く、観光客の増加や、イベント開催に伴う需要で売上増につながった事業所が多かった。それにより、設備投資を拡大し、来期以降の取り組みを試みる事業所も多く存在した。

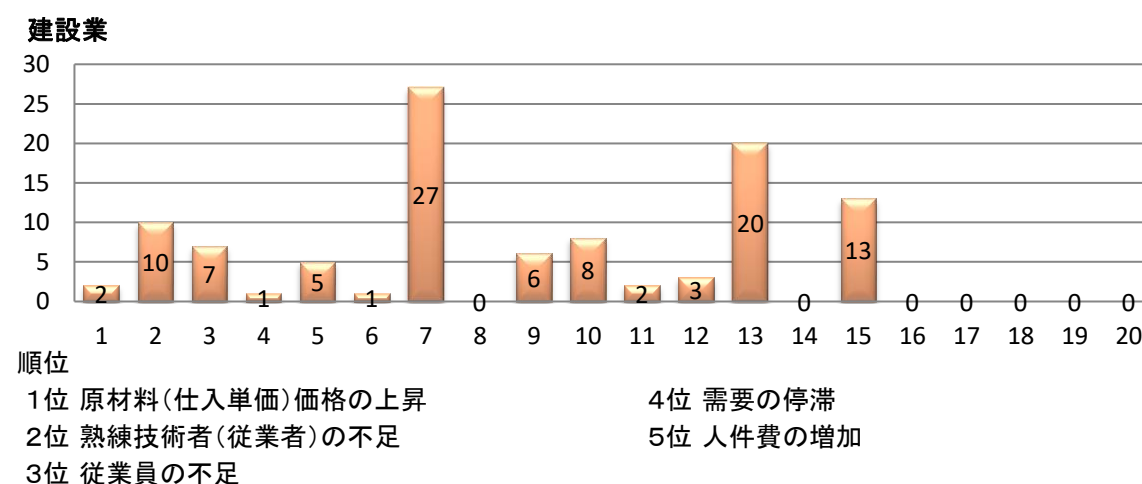
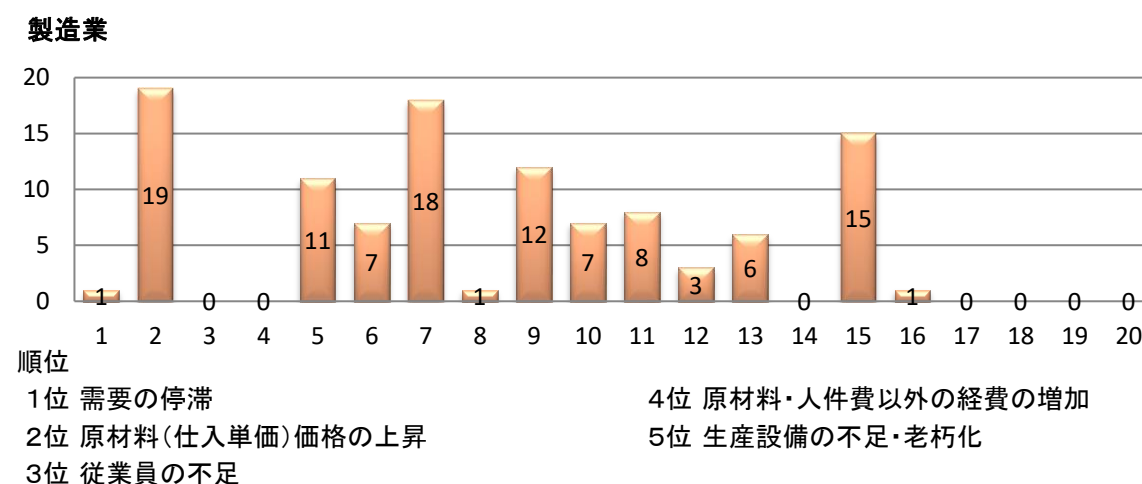
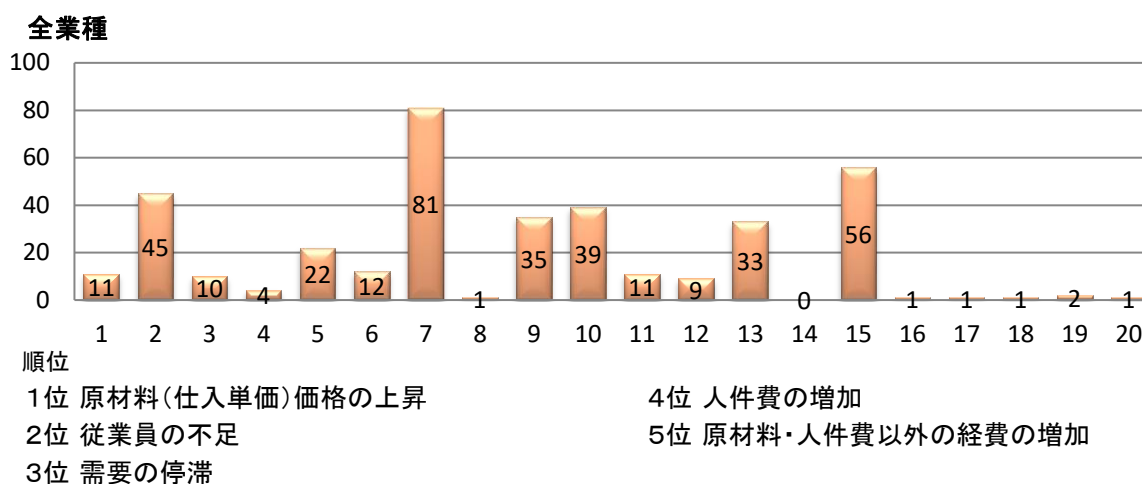


前年同期と比較すると、仕入価格DIは上昇、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。コロナの5類移行に伴い、客数もコロナ前の9割程度の回復を感じている事業所が多かった。一方で、仕入価格の高騰や人材不足に苦労しているとのコメントも多くみられた。



来期の見通しは、採算DIは0、仕入価格DIは上昇、業況DIは悪化、その他の項目はプラスの値を示す結果となった。キャンプシーズンの到来により観光客の増加を期待するコメントが多くみられた。また、コロナの5類移行後の営業活動の再開により広告出稿の増加や、イベント開催に期待する事業所も多くあった。

6. 経営上の問題点

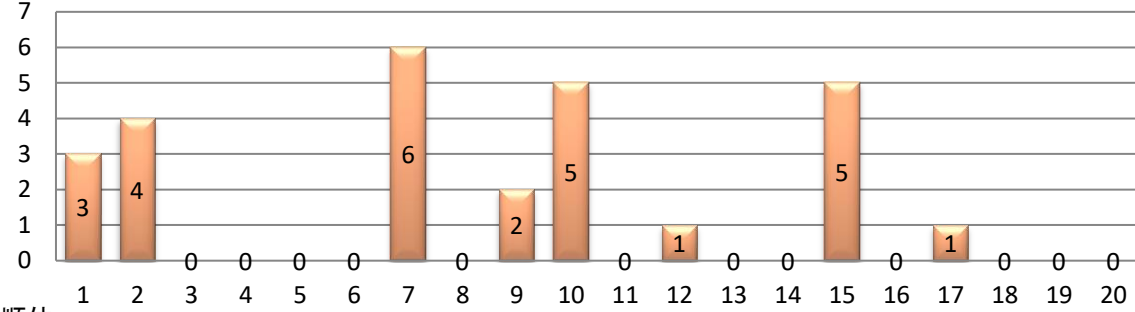


【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 円高による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

6. 経営上の問題点

卸売業

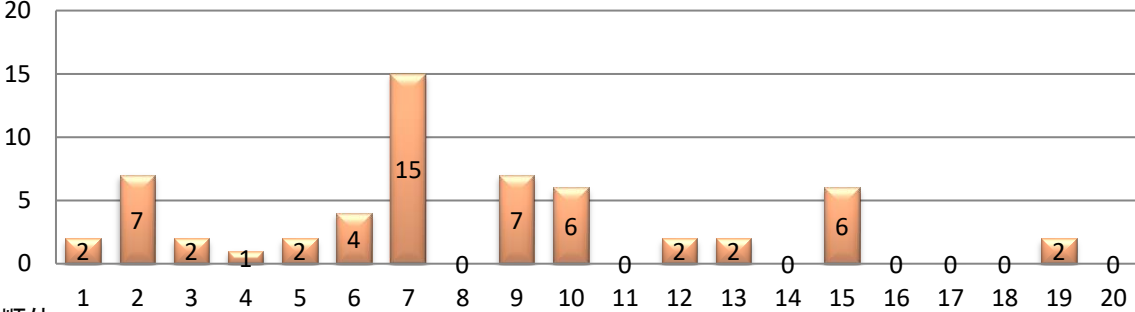


順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 人件費の増加
2位 従業員の不足

4位 需要の停滞
5位 県外大手企業の進出による競争の激化

小売業

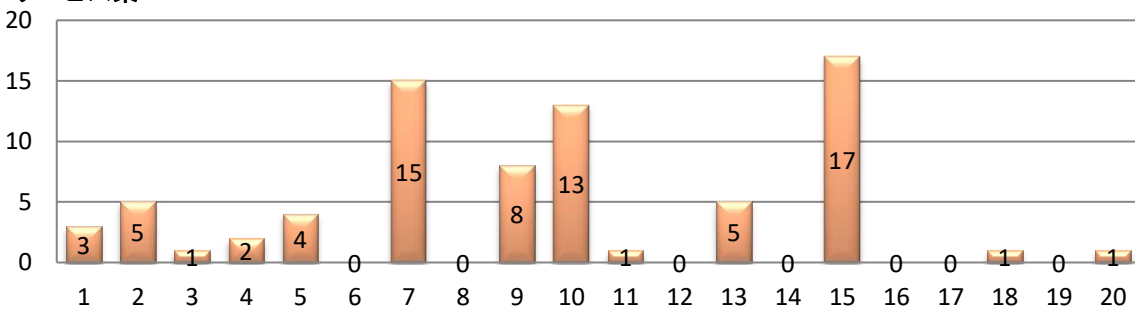


順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇
2位 需要の停滞
2位 原材料・人件費以外の経費の増加

4位 人件費の増加
4位 従業員の不足

サービス業



順位

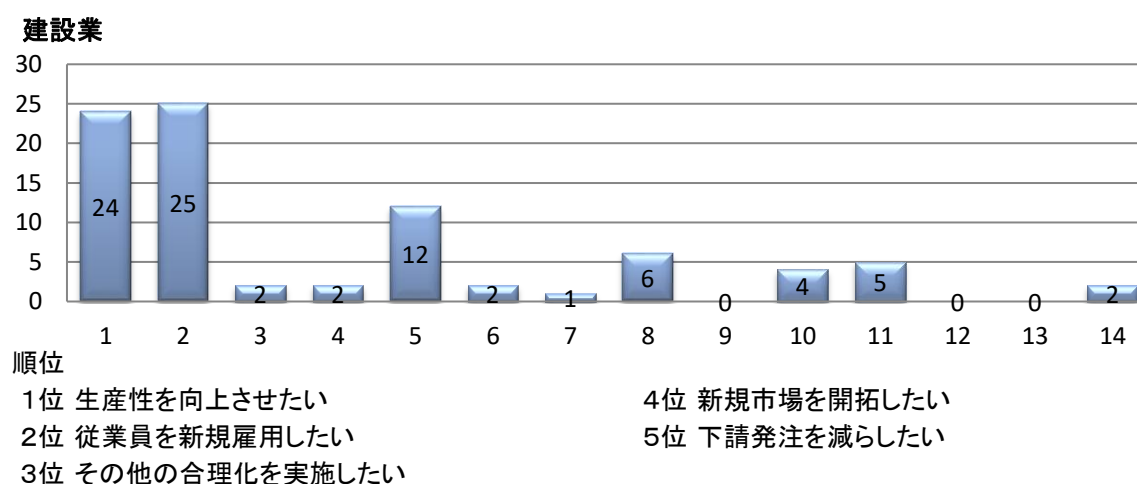
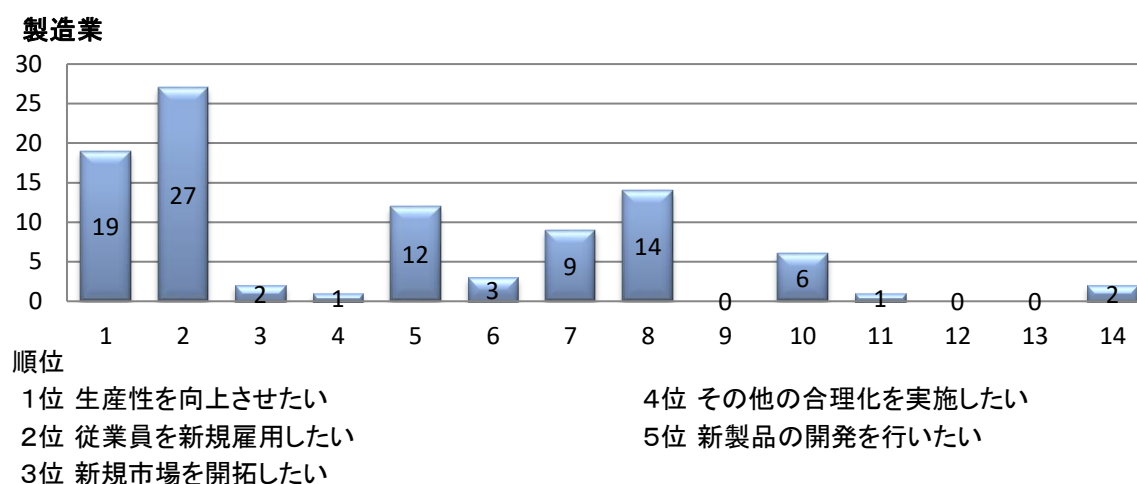
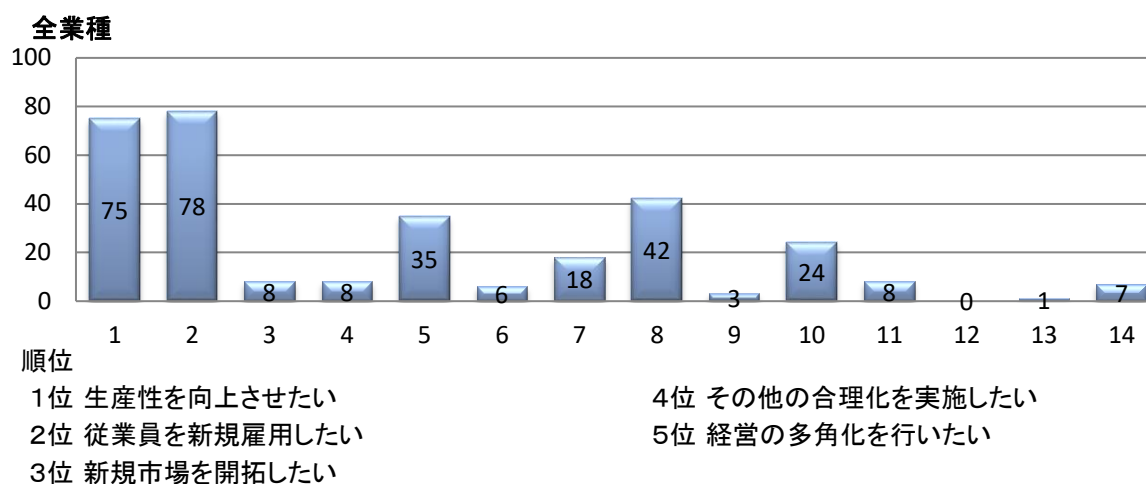
1位 従業員の不足
2位 原材料(仕入単価)価格の上昇
3位 人件費の増加

4位 原材料・人件費以外の経費の増加
5位 需要の停滞
5位 熟練技術者(従業者)の不足

【項目一覧】

- | | |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化 | 2. 需要の停滞 |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化 | 6. 製品ニーズの変化 |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 8. 生産設備の過剰 |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加 | 10. 人件費の増加 |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難 | 12. 原材料の不足 |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足 | 14. 金利負担の増加 |
| 15. 従業員の不足 | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰 | 18. 取引条件の悪化 |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化 | 20. 代金回収の悪化 |

7. 今後の対応策

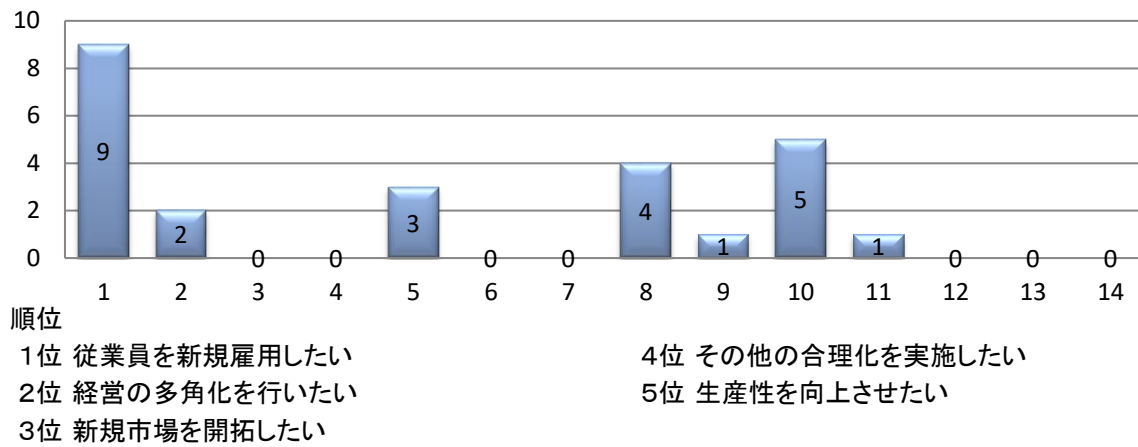


【項目一覧】

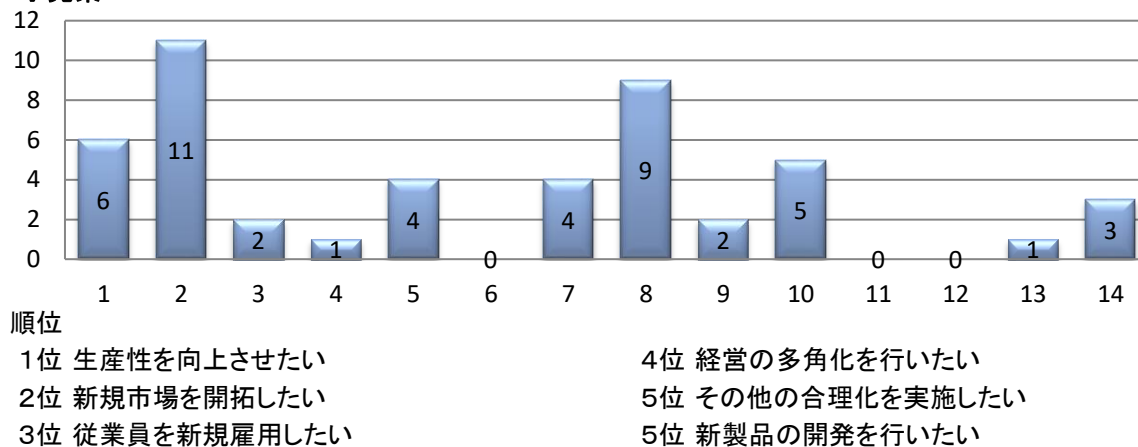
- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 9.業種転換を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | |
| 14.その他 | |

7. 今後の対応策

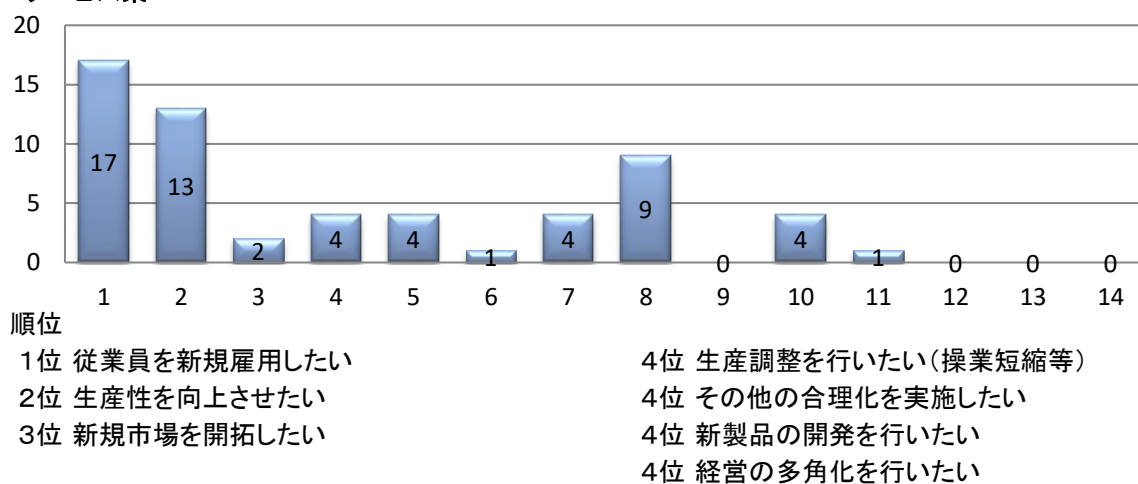
卸売業



小売業



サービス業



【項目一覧】

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい | 2.生産性を向上させたい |
| 3.人件費を削減したい | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | |
| 6.金融機関から資金を調達したい | 7.新製品の開発を行いたい |
| 8.新規市場を開拓したい | 9.業種転換を行いたい |
| 10.経営の多角化を行いたい | 11.下請け発注を減らしたい |
| 12.海外へ生産拠点を移したい | 13.海外から原料・部品を調達したい |
| 14.その他 | |

8. 国・県への要望

業種名	事業内容	地域	国県への要望
サービス業	総合不動産業	宮崎	仕入価格の上昇、人件費の上昇を予測。
サービス業	ゴルフ場経営	宮崎	宮崎のリゾート化。
小売業	切花鉢物販売	延岡	直接9月 11月と国会議事堂で農林水産省輸出担当者と2度面談を行い地方市場の現状を説明したのち、日本の政策に関して意見させていただいた。国が補助事業を作る際、団体でないと受けることができない仕組みに弱者の不利感を覚えます。都市圏でしか現実的に活用できないような仕組みになっている。地方には地方向けの補助事業も検討をお願いしたい。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	2024年4月に適用される 時間外労働の上限規制に対する対応への支援
サービス業	廃棄物処理業	日南	日南市の入札物件について、地元業者で出来るような仕事であっても県外の大手等や市外の業者を入札に含めたりしている。誰が税金を払っているのか考えて欲しい。
小売業	百貨店	日南	需要(購買)に対して供給(店舗)が多く、東九州道開通、高齢化、急速な人口減で不採算店が増加、撤退が増加すると考えられる。キャッシュレス決済キャンペーンなど市内での購買UP策が必要と考える。※吾田への流入となり、油津地区が特に厳しいと感じる。

製造業	クラフトビール製造、卸小売	日南	インボイスが始まり、軽減税率の事務手続きが煩雑すぎ大変、軽減税率がなければもっと楽しくなるのに…軽減税率を廃止してほしい。
小売業	事務用品販売	日南	国会議員の悪い人達を成敗して頂き、議員数削減や無駄な費用を見直してもらい、その分の税金を国の繁栄対策に当てて欲しい。消費税を0に戻し、国民平等な景気対策。消費税がなくなれば、インボイスも無くなるので仕事の手間も省ける
建設業	塗装業	延岡	カーボンニュートラルやDXに関して、金銭面や技術面の支援を充実させて欲しい。外国人雇用について、実習生の制度が新しくなると、自動車産業の雇用が厳しくなる恐れがあるという話もあるので、そうならないように雇用の枠を広げて欲しい。
製造業	印刷業	宮崎	3月には、コロナ関連の融資の支払いが始まり、月の支払いが増加するので金融機関と調整しているが制度の条件が前年の売上が対象なので、上向いた業況の中で条件を満たすのは難しい。金利負担が増加してしまうので対策を考えている。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	消費税減税。これにつきます。
サービス業	総合コンサルティング	日南	社会保険料をどうにかしろ！手取りが増やせない。年齢に関係なく3割負担にして、医療費を上げすぎないこと。医師会の圧力に屈せず、現役世代、子ども達への投資社会リソースを配分してほしい。ライドシェアが動き出したこと、紙の保険証廃止は素晴らしい！法人税上げても良いけど社保は上げない。ポピュリズムに走らない。
建設業	土木建設業	日南	東九州自動車道(日南～串間間)の予算確保御願いたい。

小売業	食品小売業	高鍋	インボイス制度や電子帳簿保存法等、地方の中小企業にとって負担が大きい。制度の簡略化を望む。
建設業	建設業	日南	株価は上昇しているが、実態経済とはかけ離れており、景気回復の兆しは感じられない。また長期的な景気対策として、人口減少対策に更に注力していただきたい。
小売業	工芸品販売	日南	景気の回復が一番だと思いますが、どのような対策が必要かはよく分かりません。
サービス業	飲食業	日南	ミニ新幹線。
サービス業	飲食業	日向	人の雇用に関する保険適用等の問題は会議所等も前向きに援助に向けて動いてほしい。
製造業	オイルシール	宮崎	インボイス制度の廃止。
建設業	建設業	日向	円の価値を上げる対策を考えて実行してもらいたい。

建設業	測量業	日南	公共事業の予算拡大。
小売業	農水産物直売所	日南	若者の雇用が難しい。ITとかに流れている。なので中年以上に雇用も消費も期待している。全国で起きていることだと思うので仕方ない。
製造業	木材加工業	日南	行政(国)に全く期待がもてないのが現状です。
製造業	建具製造業	日向	賃上げ対策。
建設業	建設工事業	日南	物価高により原材料が上昇していて利益率が下がっている ので、原材料費の価格安定の為の対策をしてほしい。
小売業	事務機、事務用品 販売	小林	インボイス・電帳法のしくみ、ルールがもう少し簡素化して分 かりやすくしてほしい。対応する企業が業務効率が悪くなら ないような対策を実施して欲しい。
製造業	焼酎製造業	小林	販路開拓、営業活動の支援を引き続きお願いします。

建設業	住宅建築業	串間	異業種の企業がリフォームや新築事業に参入し、建築業界を脅かしている。商店街がショッピングモールに閉店させられている現状と似ていると不安になります。
建設業	水道工事業	西都	全国的に人材が不足している状況にあると思われませんが、特に地方に於いては都市部への人材流出等により、顕著だと思われます。人の流出は、人材不足のみならず、人口減少に伴う、各産業の衰退にも繋がると思いますので、省庁の地方分散化等含め地方に人が来る対策を講じて頂きたい。
小売業	石油販売業	西都	いつまで続く燃料高騰！！元売りへの補助金はわかるのですが、小売りに対して明白でない！！各石油元売りメーカーの売上高、現収入(利益)が過去最高額を上げている！！小売り各社は切羽詰まっているのに対し石油元売りの利益はなぜ過去最高利益がでているのか？小売りに対しての補助が妥当なのでは？知りたい！！
小売業	靴・鞆販売業	西都	今年もプレミアム付商品券の発行の継続をお願いしたい。